

## サントムーン柿田川で広報活動



自衛隊静岡地方協力本部沼津地域事務所（所長・早川勉1等陸尉）は、1月15日（日）、サントムーン柿田川（駿東郡清水町）で広報活動を実施した。

店内イベントスペース内に災害派遣等の写真パネルを展示し、陸上・海上・航空自衛官の制服試着体験コーナーを設けた。

当日は300人以上の来場者があり、静岡県内で行われた災害派遣活動の写真に見入って質問を投げかける人や、制服を試着して記念撮影を楽しむ人の姿が見られた。

また、午後は静岡地本のマスコットキャラクター「しずぼん」が登場。撮影会を行い、愛らしい姿で子どもたちの人気を集めた。

ブースを訪れた来場者からは「制服を試着できて嬉しかった」「災害派遣について知ることができた」などの声が聞かれた。

沼津所は、今後も地域の施設と連携し、自衛隊への理解を深めてもらえるよう広報活動を継続していく。

## 入隊予定者に対する板妻駐屯地見学を実施



富士地域事務所（所長・本間亮2等陸尉）は1月22日（日）、陸上自衛隊入隊予定者に対し行われた板妻駐屯地（御殿場市）見学に、参加者8人を引率した。

これは、陸上自衛隊の特性や勤務環境について理解を深めるとともに、入隊に対する不安の払拭を図り、入隊への意欲向上を目的に実施されたもの。富士所の8人を含む県内の入隊予定者22人と保護者1人が参加した。

最初に駐屯地広報班から駐屯地の概要説明を受け、資料館では駐屯地の歴史を学び、とともに展示資料を見学した。

その後、小型トラック、高機動車、軽装甲機動車、3トン半トラックといった自衛隊車両を見学し、運転席の座り心地などを体感していた。



また、施設見学では連隊長室や広報班の事務所といった職場環境、隊員の生活倉庫で入隊後の生活環境を確認した。

昼食は、隊員食堂で駐屯地に勤務する隊員と同じメニューを食べ、

「量も多く、おいしかった」と満足した様子であった。

午後は救急法の展示が行われ、止血帯の使い方や応急担架の作り方を参加者が実際に体験した。止血帯の体験は2人一組になって交代で実践し、隊員の的確なアドバイスのもと使い方を学んだ。

また、棒と毛布を使って作る応急担架作成では、作成した担架に実際に乗ってみる体験も行い、安全に使用できることを実感していた。

参加者からは「駐屯地の中で勤務するイメージができた」「生活部屋もきれいで、食事もしっかりしていて安心した」等の声が聞かれ、見学を通じて入隊意欲が向上した様子だった。

富士所は、今後も入隊予定者に駐屯地等の研修を行い、入隊に対する不安の払拭を図っていく。